

大きな注目を集める 3省連携の省エネキャンペーン ZEHの普及、省エネ改修に手厚い支援

国土交通省、経済産業省、環境省の3省連携による「住宅省エネ2023キャンペーン」が大きな注目を集めている。このキャンペーンは、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、家庭部門の省エネを強く推し進めていくことを目的とする3つの支援策を3省連携で進めるものだ。

具体的には、国土交通省の「こどもエコすまい支援事業」、経済産業省と環境省の「先進的窓リノベ事業」、経済産業省の「給湯省エネ事業」という、先の補正予算で打ち出された3つの事業を指す（8頁参照）。

「こどもエコすまい支援事業」は、ZEHの新築住宅に対して100万円/戸を補助。また、住宅の省エネ改修等に対して最大30万～60万円/戸を補助する。「先進的窓リノベ事業」は、一定の基準を満たす高断熱窓に交換するリフォームに対して最大200万円/戸を補助。「給湯省エネ事業」は、省エネ性能の高い高効率給湯器の設置に対し5万円もしくは15万円/台の補助を行う。

併用可能な3事業を ワンストップで利用できる

これら3つの施策の予算額は合計2800億円というこれまでになかった規模の事業である。特に「先進的窓リノベ事業」は最大200万円/戸という大きな補助金額であり、リフォームユーザーにとって非常に魅力あるものになっている。

これら事業は併用可能であることがその魅力をさらに高めている。

対象建材・設備の性能等に応じて、補助対象が重複しなければ併用して申請することができる。例えば、窓の性能によっては「こどもエコすまい支援事業」よりも「先進的窓リノベ事業」でより高い補助額を得ることができる。また、「こどもエコすまい

支援事業」は他2事業で補助を受けている場合、補助額2万円以上で申請可、必須工事がなくとも申請可、という緩和措置が適用される。

さらに、ワンストップ申請が可能で、それぞれ別々に申請する手間を削減している。

総合サイトで 様々な情報を発信

「住宅省エネ2023キャンペーン」の公式サイトでは、3事業の内容や最新情報を確認できるとともに、申請手続きの解説、また、事業者の登録、リフォーム対象建材の登録も可能になっている。

また、一般にもわかりやすい表現で住宅の省エネ化の意義やメリットも解説している。例えば、これまでの住宅と一般的な省エネ住宅について、年間の光熱費を比較、寒冷地で20万8323円、温暖地で15万9362円お得になること、また、結露の発生を抑えるなど家族の健康に役立つことなども分かりやすく解説しており、住宅購入検討者・リフォーム検討者に対する提案にも役立つことが可能だ。

TOTO・DAIKEN・YKK AP リフォーム情報サイトにも情報掲載しています！